

第 72 年度（令和 7 年度）事業計画書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

令和 7 年度事業計画

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、下記に該当する研究者を対象に研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

- (1) 優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者
- (2) 他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者
- (3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者

1. 研究助成金の交付

◇「研究助成」(推薦支援型)

全国を対象に外部理事または評議員が、優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者、また他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者、特に若手の独立前後で将来有望な研究者等、本財団の目的に相応しい研究者を選出して候補者として推薦する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で審議決定をする。

◇「特別研究助成」(公募型)

近畿 2 府 4 県(京都、大阪、滋賀、奈良、和歌山、兵庫の各府県)及びそれ以西の西日本(中国地方、四国地方、九州地方、沖縄県)を対象に公募する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で決定する。応募者との直接の利害関係者は選考の表決には加わらないよう選考委員会規程に定めている。

2. 研究成果報告

「第 44 回公益財団法人篷庵社研究助成発表会」を開催し、研究成果を口頭で報告してもらう。財団ホームページにて成果報告(研究助成発表会講演要旨等)を公開する。

3. 助成の募集

令和 8 年度の公募を行う。

Ⅱ.事業の内容

1. 研究助成金の交付

1)研究助成（全国対象：75万円/件・年）

4年目：5件、3年目：5件、2年目：5件、新規：5件

計 20件 計 1,500万円

2)特別研究助成

（近畿2府4県以西対象：500万円/件・助成期間2年、初年度に全額支給）

新規：5件

計 5件 計 2,500万円

総計 25件 計 4,000万円を交付予定

各助成金の交付先は【別紙1】の通り。

2. 第44回研究助成発表会の開催

令和7年7月4日（金）午前10時00分から

於 ヒルトン大阪（大阪府大阪市北区梅田1丁目8-8）

プログラムは【別紙2】の通り。

助成期間が終了した、令和3年度新規「研究助成」交付者および令和5年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費：540万円

3 助成の募集他

公募型として、「中堅研究者助成」を追加する。

令和8年度「若手研究者助成」「中堅研究者助成」の募集要項等を決定し、当財団ホームページよりWebシステムで募集する。

選考委員会を開催し、助成候補者の審査・選考を行う。

採択数は、推薦支援型の「篷庵社助成」5件、

公募型の「若手研究者助成」4件、「中堅研究者助成」2件程度の予定。

これら公益目的事業推進費：1,077万円

以上

令和 7 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 75 万円×20 件= 計 1,500 万円)

*所属は申請時のもの

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ
4 年 目	東京大学 大学院薬学系研究科	上野 匡	機能性小分子を応用した細胞内シグナル伝達の操作と可視化
	広島大学 両生類研究センター 発生研究部門 発生再生シグナル研究ユニット	鈴木 厚	誘導因子シグナルによる胚発生と組織再生の制御機構
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	南部 寿則	高反応性スピロシクロプロパンの開裂一環化反応を用いる新規環状化合物合成法の開発とその応用
	大阪大学大学院 基礎工学研究科	久木 一朗	ねじれたパイ共役分子を用いた水素結合性キラル多孔質結晶材料の開発
	日本大学文理学部生命科学科	安原 徳子	核輸送因子 importin α の細胞内機能の切り替えとその生理作用の解明
3 年 目	徳島大学医歯薬学研究部 応用栄養学分野	瀬川 博子	成長・老化を制御するリン代謝調節機構の解明
	京都大学大学院医学研究科薬剤学/医学部附属病院薬剤部	中川 貴之	シュワン細胞を標的とした末梢神経再生に基づく末梢神経障害治療薬の探索
	高崎健康福祉大学薬学部・薬学科 分子動態制御学	中西 猛夫	肝物質動態の変化に基づく N A F L D の病態理解と診断法の開発
	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所	藤井 晋也	有機金属化合物の特性を利用した分子設計法の開発と医薬リード創出
	大阪大学大学院薬学研究科 生物有機化学分野	山口 卓男	創薬応用に向けた多機能人工核酸の開発
2 年 目	徳島大学 大学院医歯薬学研究部薬理学分野	池田 康将	鉄ストレス制御による慢性腎臓病の新たな治療戦略の創出
	北海道大学 大学院先端生命科学研究院	上原 亮太	染色体倍加による脈管内がん細胞凝集の分子機序と病理的意義の解明
	立命館大学薬学部	土肥 寿文	革新的メタルフリーカップリング戦略に基づく医薬分子合成法の開発
	大阪大学大学院工学研究科	平野 康次	光学活性含フッ素有機分子のケミカルスペース拡張を目指した不斉触媒の開発
	九州大学大学院薬学研究院	山田 健一	新規酸化リン脂質の探索・評価
新 規	名古屋大学大学院創薬科学研究科 細胞薬効解析学分野	小坂田 文隆	脳内情報表現の可塑性の解明とその制御による治療応用の探索
	東京大学大学院薬学系研究科	小松 徹	1 分子レベルの酸化還元酵素活性検出系の開発と proteoform レベルの機能解析による疾患の理解の深化
	熊本大学大学院生命科学研究部 (薬学系)	中村 照也	DNA 複製・修復にかかわる酵素反応機構の解明
	東京慈恵会医科大学医学部	山田 幸司	小胞体を起点とした核移行タンパク質の分泌機構の解明と発がん研究
	東京理科大学 理学部第一部 物理学科	山本 貴博	光音響イメージング増強剤としてのカーボンナノチューブの光熱物性研究

◆ 特別研究助成（新規：1件500万円×5件＝計2,500万円）

助 成		所 属（申請時）	研 究 者 名	研究テーマ
新 規	薬学系	大阪大学 産業科学研究所 複合分子化学研究分野	伊藤 幸裕	RNA を選択的に切断する分子の創製とその 創薬研究への応用
	薬学系	京都大学 大学院薬学研究科 薬品合成化学分野	瀧川 紘	天然物の構造多様化を鍵とする ABC トラン スポーター制御分子の開発研究
	医学系	京都大学 医生物学研究所	橋口 隆生	ウイルスフリー実験系を用いた高病原性ウ イルスの中和抗体逃避機構の解析
	医学系	香川大学 医学部薬理学	北田 研人	加齢や肥満に伴う筋萎縮の新たな発症機序 解明：組織水分量と浸透圧ストレスの観点か ら
	医学系	京都大学 医生物学研究所 がん・幹細胞シグナル分野	服部 鮎奈	悪性腫瘍における細胞内アミノ酸代謝を標 的とした創薬研究

◆ 特別研究助成 助成継続中（助成期間2年）

助 成		所 属（申請時）	研 究 者 名	研究テーマ
2 年 目	薬学系	京都大学 大学院薬学研究科	井貫 晋輔	自然免疫型 T 細胞の機能を利用した新たな創薬モダリティの創出
	薬学系	九州大学 大学院薬学研究院	矢崎 亮	非天然アミノ酸が拓く細胞内 PPI 標的中分子ペプチド創成
	医学系	熊本大学 大学院生命科学研究部（医学系）	諸石 寿朗	「抗原・アジュバント一体型糖鎖修飾金ナノ粒子」によるがん免疫療法の創生
	医学系	京都大学 医生物学研究所	木村 香菜子	HTLV-1 感染症征圧のための構造生物学的手法を用いた新規モダリティ開発

第44回公益財団法人蓬庵社研究助成発表会

日 時： 令和7年7月4日(金)10時00分から16時20分

場 所： ヒルトン大阪 京都の間

※講演順、演題等に変更となる場合がございます。

10:00-10:05 ご挨拶 公益財団法人蓬庵社 理事長 武田 禮二

演 題（講演20分、討論10分）

座 長

10:05- 1. 神経変性疾患の核酸医薬創薬に向けたシャペロンRNAの実証

北村 朗 先生

(北海道大学大学院先端生命科学研究院)

西村 紳一郎 先生

10:40- 2. 新規アルツハイマー病モデルマウス由来組織を用いたタンパク質プロファイリングによるバイオマーカーの探索ならびに薬効予測系の開発研究

久米 利明 先生

(富山大学 学術研究部 薬学・和漢系)

佐藤 公道 先生

11:15- 3. 粘膜バリア突破型微粒子による革新的DDSの創製と細胞機能制御

田原 耕平 先生

(岐阜薬科大学)

桐野 豊 先生

11:45- 昼 食 休 憩

12:35- 4. データ駆動型アプローチとゼブラフィッシュを用いた肝庇護薬探索

西村 有平 先生

(三重大学大学院医学系研究科 統合薬理学分野)

岩尾 洋 先生

13:10- 5. 急性腎障害に併発する血管機能障害に対する薬理学的研究

大喜多 守 先生

(大阪医科薬科大学 病態分子薬理学研究室)

宮崎 瑞夫 先生

《特別研究助成》

13:45- 6. 加齢に伴う脳機能低下の分子機序解明

藤田 幸 先生

(島根大学 医学部 発生生物学)

塩野義製薬(株)
研究員

14:15- 休 憩

《特別研究助成》

14:35- 7. 心筋ターンオーバーにおける低酸素シグナルの機能と加齢性心不全治療への応用

木村 航 先生

(理化学研究所生命機能科学研究センター心臓再生研究チーム)

塩野義製薬(株)
研究員

《特別研究助成》

15:10- 8. 異常核タンパク質の化学変換を指向したTDP-43リン酸化翻訳後修飾体の自己会合性研究

相馬 洋平 先生

(和歌山県立医科大学 薬学部)

塩野義製薬(株)
研究員

《特別研究助成》

15:45- 9. 個体恒常性の加齢性変容にも影響しうる新たな腎老化制御機構の解明

尾花 理徳 先生

(大阪大学 大学院薬学研究科)

塩野義製薬(株)
研究員